

# 広報ひがしゆり

1991・7

No.436



## 森林浴で心身をリフレッシュ

植物の葉をちぎったり、木の枝を切つたりした時のあの何とも言えないすがすがしい香りを思い出してみてください。この香りの「主役」は「テルペノン」と呼ばれる揮発性の物質で、疲労回復を早めたり、神経を鎮めたり、あるいは病原菌の繁殖を阻んでくれたりする、といわれています。

このテルペノンの香りの中には「フィトンチッド」という物質が含まれており、これが人間の体に良い影響をもたらすことが、最近の研究で分かってきました。フィトンチッドは、森のなかを漂っています。森林浴とは、このフィトンチッドの気体を体いっぱいに浴びることです。

これから夏に向けて、最も美しい緑のシーズンが始まります。あなたも、「緑のシャワー」を浴びて、心身のリフレッシュをはかつてみませんか。  
 (写真は町民登山・6/2八塩山)

■主な内容	*
●6月定例議会ほか	2・3
●町長の町政報告	4・5
●775人のお年寄りをご招待(町敬老会)	6・7
●町のわだい	8・9
●「東由利町農業振興大綱完成」ほか	10・11
●高橋宏幸の世界	12・13
●みんなのひろば	14・15

## 可決した主な議案

# 契約など可決

に2億8千万円追加

## 保育料徴収条例の一部を改正

出羽丘陵開発事業で造成した大森、板戸、直道、強清水の各団地に融雪災害が起き、水路工事を行うことになりました。事業期間は平成五年までで、毎年度の予算の範囲内で実施します。

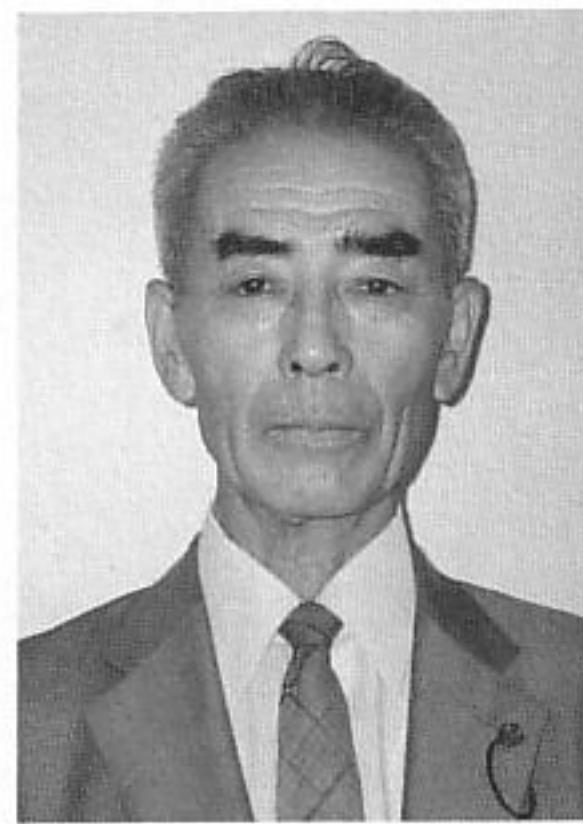


## 融雪災害の復旧工事を実施

六月定例議会で可決した議案の主な  
内容は次の通りです。



## 新副議長の阿部剛氏



新議長の小野要造氏

長谷山町議会議長が辞任

町議会議長の長谷山一郎氏が一身  
上の都合により六月五日に議員を辞  
職、このため町議会は六月十二日に開  
いた定例議会で議長選挙を実施し、新  
しい議長を決めました。

一票 畑山清一氏が四票を得票 阿部氏が新しい副議長に就任しました。

## 監査委員に畠山淳悦氏選任

議会選出の監査委員を務めていた阿部剛氏が副議長に就任したことで、阿部氏が同委員を辞任。同委員の選任案が六月定例議会で追加提案され、畠山淳悦氏（袖山・六三歳）が新しい監査委員に選任されました。



畠山淳悦氏

東由利勤労者野球場の照明施設建設工事を、指名競争入札により本荘電気工業(株)（秋田市）が六千七百九十八万円で落札、同業者と工事請負契約を結びました。工期は六月十四日から九月二十五日までとなっています。

## 野球場照明施設建設工事に着工

指名競争入札により(株)佐藤組(八日町)が七千六百四十二万六千円で落札、同業者と工事請負契約を結びました。工期は六月十四日から九月二十五日までとなっています。

委員に選任されました。

（山・六三歳）

議会選出の監査委員を務めていた阿部剛氏が副議長に就任したことで、阿部氏が同委員を辞任。同委員の選任案が六月定例議会で追加提案され、畠山

間産業建設常任副委員長、教育民生常任委員長を歴任し、平成二年七月からは議会選出の町監査委員を務めていま

議員小野要造氏、副議長江阿部剛氏就任

## 6月定例議会.....

# 八塩小学校建設計工事

## 平成3年度一般会計予算

### 島宮線の歩道工事に着工

町道島宮線の歩道工事を、指名競争入札により(株)佐藤組(八日町)が三千七百五十九万五千円で落札、同業者と契約を結びました。工期は六月十四日から十一月二十五日までとなっています。

### 須郷田跡見坂線舗装工事に着工

町道須郷田跡見坂線の舗装工事を、指名競争入札により(株)大沼組が三千五百二万円で落札、同業者と契約を結びました。工期は六月十四日から九月三十日までとなっています。

### 道路整備費など補正

平成3年度一般会計予算に二億八千五百六十円を追加、同予算の総額は三十三億八千二百九十二万五千円になりました。主な内訳は次の通りです。

▽保育所児童措置費負担金＝三百二十万一千円  
▽簡易水道特別会計繰出金＝五百二万八千円

六月十四日から着工した八塩小学校  
水泳プール建設工事



- ▽農道整備費＝一千三百四十四万六千円  
(調査委託料など)
- ▽農村総合整備モデル事業＝一千四百四十一万一千円 (高村ザッコ又線改良工事など)
- ▽多目的研修施設費＝七百五十一万四千円 (大蔵館、八塩館屋根改修ほか)
- ▽林道新設改良事業＝一億六十万一千円 (八塩一号線改良工事ほか)
- ▽道路新設改良費＝六千百十八万七千円 (島宮線歩道設置工事ほか)
- ▽冬期交通対策費＝二千二百万円 (流雪溝工事ほか)
- ▽農業用施設災害復旧費＝三千六百九十三万五千円 (融雪施設災害復旧工事ほか)

## 投票日は8月4日

八月十九日任期満了に伴う町長選挙は、六月二十一日に開かれた町選挙管理委員会で、七月三十日(火)告示、八月四日(日)投票と決まりました。また、それに合わせて町議会議員補欠(三人)選挙も行われます。

開票は、即日午後七時から有鄰館で行われます。

### 投票できる人

投票できる人は、町の住民基本台帳に登録されている八月四日現在満

二十歳以上の人(昭和四十六年八月五日以前に生れた人)で、今年五月四日以前から引き続き町内に住んでいる人です。ただし選挙人名簿に登録されていないと投票することはできません。選挙人名簿は七月二十九

日現在で調整され、新規登録者を記載した書面は同三十日から八月一日まで役場で縦覧できます。時間は午前八時三十分から午後五時までです。

詳しくは町選挙管理委員会事務局(役場)へお問い合わせください。

## 消防団長に石渡力造氏 6月5日付で佐藤団長辞任

町消防団の  
佐藤力団長  
(宇戸坂・六一歳)が六月五

日付で辞任、

後任に前副団長の石渡力造

氏(藏新田・六〇歳)が就任しました。

辞任した佐

藤氏は、昭和二十四年玉米村消防団員を



新消防団長の石渡力造氏

部班長、副本部長、副団長を歴任し、昭和四十八年団長に就任、これまで四十二年の長期にわたり町消防行政の推進発展に貢献されました。新しく団長に就任した石渡氏は、昭和二十八年下郷村消防団員を拝命、以来班長、分団長を務め、昭和五十二年から副団長として、佐藤団長の補佐役を務めてこられました。

# 町長の 町政報告

## 6月定例議会

本議会は私の任期中の最後の定例議会となりますので、議会並びに町民各位に対しましてひとと感謝の意を表したいと存じます。

すでに表明いたしておりますように、私はこのたびの任期を終えて退任することといたしました。八月十九日で任期満了となります。二期八年の間議員各位並びに町民各層各位から寄せられて、心から深甚なる感謝を申し上げる次第であります。

顧みますと八年前、小学校統合をめぐる町民対立の中、町政不信の声が町内に渦巻く中で町民に迎えられて就任いたしました。町民対立や争いの中で町の発展を期待することは無理であり、また町政不信の中では町づくりの進展は望めないことは当然であります。

私は「新しい町政の流れ」を求める町民の声に迎えられました。この責任を果すために、当時としては当然のことでありましたが、町民対話と町内融和を第一にし、民主政治の原点であり地方自治の基本であります「町民総参加の町政」「町民と共に歩む町政」を打ち出しまして、これをスローガンに掲げてスタートいたしました。

そのために、先ず町民憲章の制定と、これに基づいての町民自治の町政を公約いたしました。また、町の未来の発展のために指標を定め、町づくりの具

し合いながら解決することができました。今では地域の問題で町政に不満が残るような事項がなくなりました。

このように、公約いたしましたことはすべて実行いたしました外、それぞれの地区から寄せられた要望もできるだけ積極的に汲み上げまして、数多くの事業を実行させていただきました。唱え、「実行実践の行政」を身をもつて進めてまいりました結果、町民の皆さんのご理解を得ることができました。そして町民各位から積極的なご協力とご指導をいただくことができましたことを心からうれしく存じます。お蔭様をもちまして、この八年间、町民対立や町政不信の動きなどをみることもなく今日に至りました。

このように、就任第一の目的であります町内融和の目的を町民みんなの努力で達し得たことは、町民各位のご理解とご協力によるものであります、町民の参加による成果であると確信するものであります。また、私の公約につけても、町民のご協力を賜わりながらひとつひとつ実践しすべて実行することができました。なお、町内各地区

このように、町民に公約して目指してまいりました「町民総参加の町政」「町民と共に歩む町政」のスローガンが町民の間に定着してまいったことは、町の将来のためにも心からの慶びであり、今後も更に進展されるであろうことを確信しております。そして、これが今後の町づくりの成果に結び付くこ

とを決意したものです。

いま、二十一世紀を目前にし、地方自治の大重要な時期にさしかかりましたので、私はこれらのこと踏まえ、二十世紀への基盤づくりと橋渡しの大事業なプロジェクトを既に実施中でありますから、これをしっかりと引き継ぎます。新しい時代には新しい人による英知と実践力が大切であります。町づくりの成否は首長を陣頭にしたその英知による企画、創造力、アイデアの創出、そして実践力にあると存ずるところであります。

私は東由利の未来のために「東由利町農業振興大綱」「若者定住促進条例」「定住促進基金条例」「若者定住促進条例」を策定し、そして町民待望の「廃舎建設基金条例」を発足させて建設への第一歩を踏み出しました。これらの



テレビ塔(上里)から町の中心部を望む

とを心から念願するところであります。申し上げましたとおり、私の目指した行政指標の実現にひとつ区切りがありました。また、公約実現など私の町づくりの行政運営に一応の区切りが出来上りました。町民の期待に応えるような行政運営が果してできてあつたかどうか、自らを自問自答し、厳しく反省を加え、また私の行政運営の区切りが、未来の東由利町発展のために阻害になつてはならないので、未来を託すためのタイミングとして今回退くことがよいのかどうかも悩みました。行政運営には停滞は許されないところですが、熟慮の末ひとつタイミングと捉え円満に引き継ぎすることを決意したものであります。

いま、二十一世紀を目前にし、地方自治の大重要な時期にさしかかりましたので、私はこれらのこと踏まえ、二十世紀への基盤づくりと橋渡しの大事業なプロジェクトを既に実施中でありますから、これをしっかりと引き継ぎます。新しい時代には新しい人による英知と実践力が大切であります。町づくりの成否は首長を陣頭にしたその英知による企画、創造力、アイデアの創出、そして実践力にあると存ずるところであります。

ことはすべて二十一世紀への新しいレールを敷いたものであります。「温泉開発」については町民各位で組織された協議会で近くボーリングについての結論を出すことになります。また未来の町づくりの一翼を担うプロジェクト「八塩自然休暇村構想」は八塩ダムを中心に着実に整備を進めてまいりました。「野鳥の家」の竣工に伴い、八塩いこいの森は五月の連休には三万人に及ぶ利用客で賑わい、予想を遥かに上まわる人出により町の活性化の実現をみることができます。県内の方々のみならず、県外の方も足を運ぶようになつたこと自体、町づくりの大きな前進であり、着実な行政成果と心得ております。喜びにたえないところであります。

国道一〇七号の改良整備も急速に進み、去る六月六日に二号トンネルの貫通式を終え、一号トンネルも平成六年度に貫通予定となりました。町内の各集落間の生活道路網の改良整備はほとんど終わり、一部近く完工見込みのものを残すのみとなりました。その他の生活環境整備、社会資本の充実強化も逐年計画どおりに進捗いたしております。なお、この際つけ加えて申し上げておきたいことは、町づくりの進展には当然のことながら財政の裏付けが大事であり、財政運営の健全化を図らねばならぬことであります。このことを常に念頭におきながら、八年間努力に努力を重ねてまいりました。その結果、財



政調整基金をはじめ、減債基金、庁舎建設基金、地域振興基金、若者定住促進基金など一般会計に属する基金の積み立て額の総合計が九億六千万円となりました。また、特別会計などその他基金積み立ての合計も二億七千万円となりました。

このような状況の中で心置きなく後任の方に引き継ぎができますことを誇りに思つております。健全財政で引き継ぎできることを私としては満足に思いますが、後任の方に対しても今後の行政運営に大いに期待を込めて引き継いでまいりたいと存じます。これも偏に町民各位のご協力の賜であります、重ねて厚くお礼を申し上げる次第であります。

和六十三年からこれまで通算八千二百五十本のツツジを植えました。  
**青少年交流施設「野鳥の家」** 五月の連休、黄桜まつりをスタートに、町内外から好評を博しながら順調に運営しています。また、キャンプ場は夏休み期間中、町内外小学校などからの申し込みで満杯になつてているという報告を受けています。

**農業後継者就農促進事業** 「農業振興大綱」の策定に伴い農業後継者対策の一環として計画していましたが、このほど国庫補助事業として採択が決まりました。県内では本町のほか大雄村、十文字町が採択されました。

国道一〇七号 六月六日「奥ヶ沢二号トンネル」の貫通式を終え、いよいよ今年度から「奥ヶ沢一号トンネル」を掘削することになりました。すでに舟木地区の改良工事と橋梁の架け替え工事が発注され、今年度も順調に整備さられる見通しとなっています。

**稻作** 今年の稲の作付け状況はササニシキが二百九十一俵（三三三石）、あきたこまちが六百十一俵（六五・九石）で、良質米の作付け比率は九七%となりました。特にあきたこまちは前年度に比べ一四%伸びました。転作面積は二百六十七・二一石です。

**台山周辺環境緑化整備事業** 今年度で

上され集落までの舗装がほとんど完成しました。中学一年生により八百本を植樹、昭和六十二年からこれまで通算八千二百五十本のツツジを植えました。

**高村線** 舗装工事に二千七百万円が計上され、今年度中に下部工事が完成する予定です。

**町税の完納** 平成二年度の町税の収納率が百%となりました。これで連續完納の記録が二十六年となりました。町民の納税に対するご理解とご協力に心から感謝を申し上げます。

いただき、今年度中に完工させたいと考えています。

**鳥台線** 一億六千万円が計上され工事が急ピッチで進むことになりました。町負担金として六百五十八万四千円を補正予算に計上しています。

**坪倉線** 舗装工事に二千六百万円が計上され七月末までに完成する予定です。

昭和六十一年に着工した同線の改良・舗装工事の総延長は三千十三尺で、事業費の総計は二億五千八百万円となりました。

**鞍骨線、杉森線、若林線** それぞれ事業費が計上され近く工事を発注する予定です。なお、今年度新規採択となつたアクト線は六百六十万円の補正予算を計上しています。

**（以下、林道関係を割愛）**  
**福祉あんしん電話** ひとり暮らしのお年寄り宅に設置する計画で、当初予算に調査費を計上していますが、県予算の確定を待ち九月の補正予算に事業費を計上するよう準備を進めています。

このほか、建設省より高齢化社会に適合した居住環境の整備などを行う「地域高齢者居住計画策定事業費」の内示を受けました。これは県内で本町だけが選ばれたもので、九月の補正予算に事業費を計上するよう準備を進めています。

され今年度に完成する予定です。なお橋梁架け替え工事には六千五百万円が計上され今年度中に下部工事が完成する予定です。

**町税の完納** 平成二年度の町税の収納率が百%となりました。これで連續完納の記録が二十六年となりました。町民の納税に対するご理解とご協力に心から感謝を申し上げます。

# 775人のお年寄りを招待

学校区



**90歳以上の長寿者は29人**

町敬老会が六月十  
日（高瀬小学区）、  
同一十日（八塩同）、同一十一日（大琴  
同）の三日間、有鄰館で開催されまし

七

今年の招待者は、町人口の約一三  
にあたる七十歳以上のお年寄り七百七  
十五人で、このうち約四百人が元気に  
出席しました。

敬老式では畠山町長が、これまでのご労苦に対する感謝と励ましを述べた後、九十歳以上のお年寄り二十九人に長寿祝い金、米寿（八十七歳）を迎えた十三人に敬老祝い金、八十歳を迎えた二十九人に肖像写真と鳩杖、金婚を迎えた十六組のご夫婦に祝い金と記念品をプレゼントしました。

アキノさんもうすぐ百歳

町一番の長寿者は、今年九月二十日で百歳になられる五海保の佐藤アキノさんで、敬老会には出席しませんでしたが、元気でお過しです。

平成3年度長寿祝い金贈呈者  
(敬称略)

氏名	年齢	住所
佐藤千吉	90	葎沢
小松ハルヨ	90	石高
高橋タケヨ	90	宇戸坂
小野清次郎	90	下通
武田キクヨ	90	須郷
小松チヨエ	90	松柴
佐藤トクエ	90	寺田
大沼タケミ	90	藏
横山ヲマツ	91	智者鶴
武田繁政	91	須郷
佐藤トヨノ	91	下小屋
小松ヲスエ	91	下通
阿部サタエ	91	十二の前
佐藤千代作	91	大吹川
大日向マツヨ	92	新町
小野秀治	92	下小屋
佐藤マサノ	92	新処
畠山アキヨ	92	館合新田
阿部喜代藏	93	大琴
小野久兵衛	93	上里
佐々木ノエ	93	大琴
伊東ヒテヨ	93	藏
佐藤トミ	93	藏
遠藤房吉	94	新処
遠藤ナヲ	94	上通
小野夏五郎	95	土場沢
畠山タキノ	96	藏
梅津ヤス	98	大琴
佐藤アキノ	99	五海保

金婚おめでとうございます（平成3年度金婚ご夫婦・敬称略）

島山慶正	工藤菊三郎	木島ユリ子	阿部清子	佐藤タケノ	佐々木三郎	佐々木シカ	宮塚彌一郎	佐藤ヒヨウ	佐藤トマ	佐藤芳一郎	佐藤吉三郎	小松ケイ	村上七作	渡辺忠一郎	渡辺亥之助	佐藤ヨラ	佐藤忠一	氏名														
67	75	69	74	70	74	70	72	73	77	73	84	72	75	70	75	67	74	69	75	67	68	72	78	71	75	68	75	74	79	72	75	年齢
袖山新処	新藏新田	藏新田	藏新田	祝沢	横小路	新町	新町	新沢	松柴	下小屋	高戸屋	石高	田代	田代	黒渕	住所																

いつも、お世話をしてくれているおばあちゃん。いつも元気なおじいちゃん。ありがとうございます。

気なおじいちゃん。ありがとうございます。  
わたしのおばあちゃんは、雨の日でもあまぐを着て畠しごとをしています。

雨は止んでナセモひくにと  
なれるとまたバヌに烟しこ  
をしています。



おじいちゃん、  
おばあちゃんへ

八塩小4年・佐藤裕美さん

やんをみると、すごいなと思います。  
それから、おじいちゃんは、おさけをのむと顔がまっかになつて、おさるさんみたいです。

きよねんのお正月は、おばあちゃんがまどふきをして、おじいちゃんがお花をかざつていました。わたしは「やることが反対だ」と、ついいつてしまいました。

おじいちゃんは、でかせぎに行つて五ヶ月くらいないけど、ちゃんとおみやげを買ってきます。

老の日は、おばあちゃんのかわりに、家の手伝いをしたいです。

ぼくのおじいちゃんとおばあちゃんは、とってもやさしいです。例えば、少しころんだけで、だいじょうぶかと心配してくれます。それに、スポ少の野球でつかれて帰つてくると、かたをもんできれたり、足をもんできれたりします。本当は、ぼくがもんできりたいと思っているけど、ついつい甘えてします。

ぼくのおばあちゃんは、いつも声をかけてはげましてくれます。学校に行くときは、「今日一日、がんばってこいよ」と言つてくれたり、野球のときは、「おもいつきり投げてこい」と言つて元気づけてくれます。そんなあたたかい一言が、ぼくにとつてはとつてもうれしいのです。また、おばあちゃんの料理は、とつてもおいしいです。それに、なんでも作ってくれるので、とつてもやさしいおばあちゃんです。

## ぼくとおじいちゃん、 おばあちゃん

高瀬小6年・遠藤鋼大くん



ぼくのおじいちゃんは、いつも元氣で、おこづかいをくれたり、おもしろい話を聞かせてくれたりします。いつしょにおふろに入ると、いつもぼくが背中を洗つてあげます。そのときのおじいちゃんの顔は、気持ちよさそうで、そんな笑顔をみると、また洗つてやりたいなと思います。

そんなおじいちゃんとおばあちゃんですが、毎朝早く起きて畑仕事をしたり、野菜を作つたり、家族のためにがんばっています。

自分でできる仕事をいつしょりけんめいがんばつてあるおじいちゃん、おばあちゃんの姿みると、ぼくも家族の一員として何かお手伝いしなければと思いました。

おじいちゃん、おばあちゃん、これからも一人そろつて、長生きしてください。ぼくもめいわくをかけないよう、いつまでも大事にしていきたいです。

「ただいまー」  
「おかえり」

わたしが学校からかえると、おばあちゃんが

おとうさんも、おかあさんも、おしごとをしてる

おはあせんかいでくれ  
かつた止おもひます。

おばあちゃんは、いつもわしたちがいないとき、せんた

れないのかなあと思います。

水をやつてそだてています。

ときどき「ここにきて花を見てみなさい」といいます。



大好きなおじいちゃん、  
おばあちゃん

大琴小2年・鈴木麻衣子さん

そんなときは、いつもより、もつとおばあちゃんのかおがやさしくなっているので、わたしは、そんなおばあちゃんが大いすきです。

おじいちゃんは、田んぼにいつたり、うしのせわをしたり、

おじいちゃんは、おじが死んで、おじを追思して、おじの隣で寝起きで

そして、とつてもしんけんなかおをして、うしのことを「だ

いじょうぶかな。だいじょうぶかな」と思つてゐるようでした。うしのことが、ほんとうにしんばいなんだなと思ひます。そして、うしのことが大すきなんだな、と思ひます。

でも、あまりむりをしないでほしいと思います。  
おじいちゃん、おばあちゃん、いつまでもいっしょにいよ

うね。

うね

# 田のわだい TOPICS

「さなぶりフェスティバル」好評博す  
**総勢百五十人の町民が出演  
NHKテレビで県下に生放映**

NHKサービスセンターと町が共催し、六月四日町健康増進センターで開いた「東由利町さなぶりフェスティバル」は、出演者の皆

されました。



好評を得た「東由利町さなぶりフェスティバル」

さんの協力などで盛会に行われました。

出演された皆さんには町内小学六年生八十八人、東由利中吹奏楽部員三十三人をはじめ、地下の沢番樂、町農業近代化ゼミナールの皆さんなど総勢百五十人で、ゲストの門脇陸雄さんと大和さくらさんも大熱演し、会場に詰め掛けた約八百人の観客を楽しませました。

この模様は即時、NHKテレビで全県に生放映され、自宅のテレビで観覧した人からも好評を得ています。放送された映像はビデオに収録し、貸し出しています。希望者はビデオ公民館か役場広報担当にご連絡ください。

**田ほりしないで田植え  
低コスト狙い不耕起栽培  
労働時間も大幅に短縮**

耕起や代かきを全く行わずに田植えをする稲の不耕栽培が、本町で初めて五月二十九日寺田地区など三カ所七十二haの水田で行われました。

不耕起栽培を行ったのは小松修一さん（寺田）、長谷山喜悦さん（石高）、三浦良男さん（田代）の三人で、小松さんは「不耕起栽培の効果が十分發揮するのは三年後だが、成功すると除草剤散布や代かきなどのコスト削減と、耕起、代かきなどでかなりの労働時間短縮が実現する。田植え後一ヶ月が経過したが、稲の根の張り具合も良く、低コストに加え収量増にもつながるのではないか」と、不耕起栽培の成功に大きな期待を寄せています。



本町で初めて行われた稲の不耕起栽培

## 奥ヶ沢二号トンネル貫通 使用開始は平成六年度 握手交わし貫通祝う

国道一〇七号に建造中の奥ヶ沢二号トンネル（仮称）が貫通し、六月六日に貫通式が行われました。貫通した二号トンネルは全長二百四十八㍍、幅員六・五㍍で、本荘方面に向かい右側に一・五㍍の歩道が設けられます。完成は年度内の予定ですが、使用を開始するには全線が開通する平成六年度の予定です。

貫通式には工事関係者や県、本荘市、本町から約七十人が出席して行われ、本町側入り口部分に発破をかけ貫通させた後、入り口周辺に塩と酒をまく清めの儀式が行われ、本荘市側から出席の柳田弘市長ら五人と、本町側で待っていた畠山町長ら五人が固い握手を交わし、貫通を祝い合いました。



本町側のトンネル入り口で貫通を祝う出席者たち

## 東中一年生が「町内探訪」 工場やトンネルを見学 探訪先の親切な応対に感銘

東由利中学校の一年生七十六人が五月三十日、「町内探訪」を行いました。これは、町内探訪を通して集団行動や町の現状などを学び、また交友関係を深めようと、同生徒自らが企画、実施したもので、スクールバスで

株トーホク、秋田ルビコン（株）、奥ヶ沢二号トンネル、祝沢八塩いこいの森を見学、それぞれの探訪先で説明を受けました。

探訪を終え生徒たちは、「自分たちの持っているラジカセやファミコンの部品が町の工場で作られていると聞いて驚いた」「トンネルを掘るのには様々な機械が使われていることや、莫大なお金と時間がかかることを知った」などの感想を述べていました。

また、探訪に随行した教師は、「工場や工事現場では、みな親切に対応してくれ感銘を受けた。そうした姿や働く姿に生徒が触れたことの意義は大きい」と評価していました。



トンネル工事現場で説明を受ける生徒たち

## 東由利町役場A、Bが優勝 「本荘市由利郡職場対抗卓球大会」 を本町で開催

第十七回本荘市由利郡職場対抗卓球大会（本荘市由利郡卓球協会主催）が六月二十三日、本町の健康増進センターで開かれました。

この大会は、チームの実力に合わせ一部から十部まで十クラスに編成、各クラスごと四チームずつ、計四十チームが参加して行われました。

本町からは七部に秋田ルビコンA、八部に小番製材所、秋田ルビコンB、九部に東由利町役場A、十部に同Bの五チームが参加、九部と十部で見事優勝に輝きました。

試合は開会式の後午前九時半から一斉に始まり、会場いっぱいにセットされた十台の卓球台を舞台に、午後五時過ぎまで熱戦が繰り広げられました。



40チームが参加し熱戦を展開した本荘市由利郡職場対抗卓球大会

# 10年後の山農業の姿描く

業の成立条件」を整備していかなければなりません。

二十一世紀の町の農業を方向づけた「東由利町農業振興大綱」がこのほど完成しました。

同大綱は、町内の農林業関係団体や農業生産組織などの代表者三十八人を策定協議会委員に委嘱を

策定、東北工業大学の山田晴義教授と広島県立大学の岩谷三四郎教授の指導、助言を得て作り上げたもので、今後の町の農業施策はこの大綱を目標にして進められることになります。

## 「人づくり」「魅力づくり」「仕組みづくり」を推進

本町の農業は稻作を中心に発展してきましたが、生産過剰や国際的な市場開放など米をめぐる社会

情勢は厳しく、さらに従事者の高齢化や後継者不足が深刻な問題となっています。しかしながら、こうした情勢にあっても農業は将来とともに町の基幹産業であり、稻作を基幹作物としながらも高付加価値化などにより「産業としての農

業を発展させるための基本目標や農業振興施策の展開方向などについて掲げたものであり、十年後の町農業の姿を描き上げています。

大綱に掲げた基本目標は、

- ①『安全でうまい米づくり』の推進
- ②低コスト肉用牛経営の推進
- ③野菜等の生産拡大と周年農業体系の確立
- ④地域資源の高付加価値化による内発的産業おこしの推進

こうした目標を達成させることで、二十一世紀には農家粗生産額が現状の約一・七倍の四百六十五万円、農家所得が同約一・六倍の八百万円になるものと同大綱では予測しています。

## ⑤「新しい農業の展開3づくり運動」の推進

同大綱はこうした条件を整備すべく、二十一世紀に向けて町の農業を発展させるための基本目標や農業振興施策の展開方向などについて掲げたものであり、これが同大綱のボイントとなりそうです。

# 県と市町村で半分ずつ負担

として約三百萬円を補正しました。

第三子以降の乳幼児の保育料が七月から全額免除されます。

これは第三子以降の乳幼児保育料の半額を市町村に助成する県の「すこやか子育て支援事業」を本町が受け入れて行うもので、対象となる乳幼児の保育料を県と市町が半分ずつ負担し合うものです。

現在町内の保育所に入所している第三子以降の乳幼児は二十八人で、七月一日から同乳幼児の保育料は無料になります。町では同事業による七月以降の本年度分財源

## 過去6年間の出生数調べ

	出生数	第3子数
60年	59人	9人
61	57	11
62	48	16
63	49	13
元	60	21
2	39	12

## 「出産数」の増加に期待

十九人でした。また、過去六年間の第三子以降の出生数は八十二人で、平均で四人に三人が第一子、二子という状況になっています。こうした現状からも、同事業による出生数の増加に期待が寄せられるとともに、特に本町では嫁・婿不足で婚姻者が減少していることから、「出産数」の増加が望まれるところです。

NHKテレビジョン放送が良好に受信できない地域（NHK認定）に、衛星放送受信設備（B S チューナー・アンテナ等）を設置した場合、経費の2分の1を助成します。

ただし、助成限度額は1世帯当たり5万円です。

助成を受けたい方は7月15日(月)まで教育委員会（☎ 69-2310）にお申し込みください。（申込用紙を準備しています）



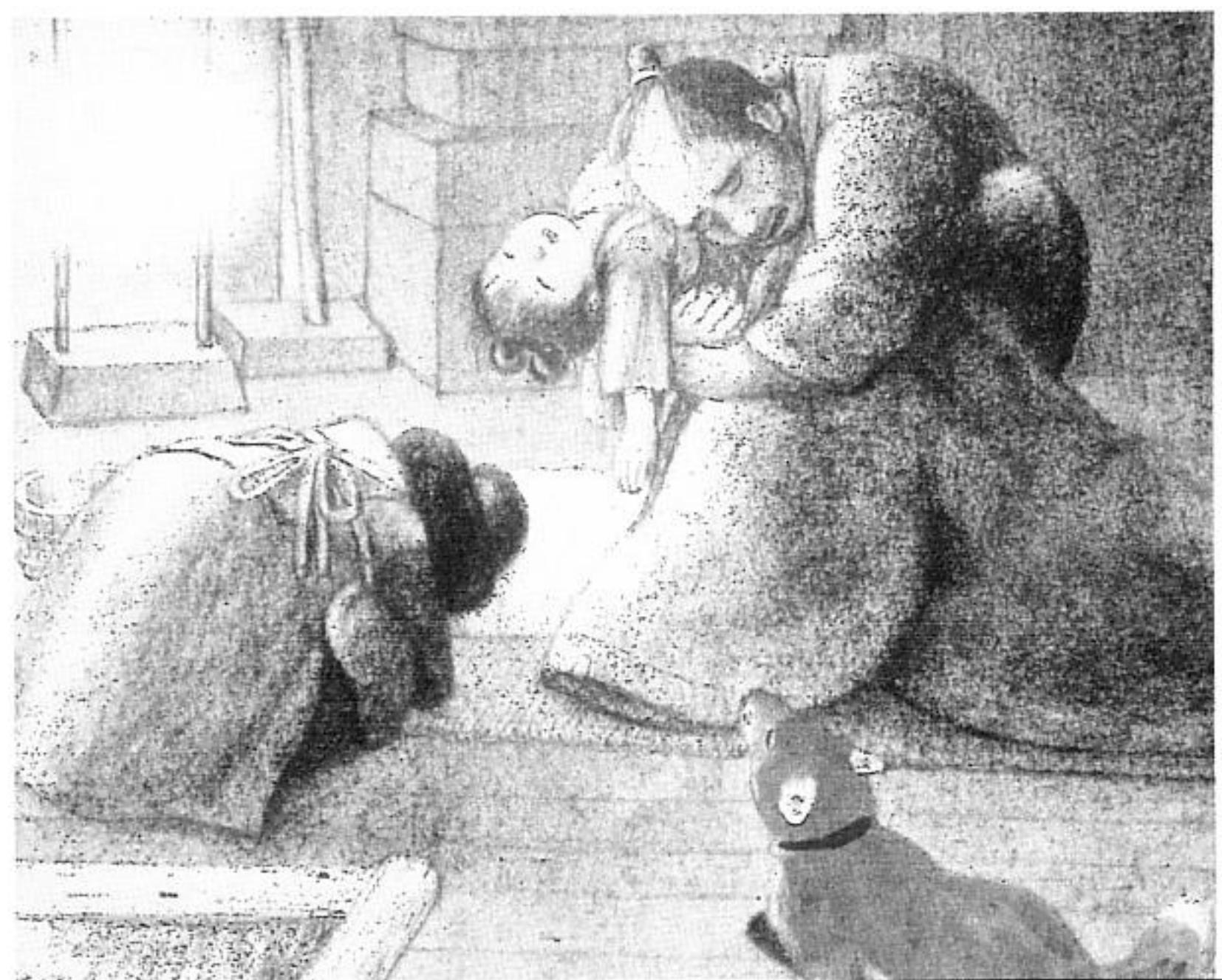




## チロヌツプの子 さくら・上

たかはしひろゆき やく・え

4



きたのうみに、チロヌツプという 小さな しまが  
ある。

江戸じだいの おわりごろ、ひとくみの ふうふが  
やつてきた。おとこは 北見与平といつて、  
松前はんから つかわされた やくにんだつた。

チロヌツプのうみには、そのころ、かぞえきれないほどの  
ラツコが すんでいた。与平の やくめは、ラツコの  
みはりを することである。うつくしい ラツコの  
毛がわを とるために、よそくにの 人たちが、  
こつそり しのびこんでくるのだ。

「しまのくらしは、らくではないぞ。はん年に いちど、  
こめや みそは、ふねで とどくがの」

「はい、かくごを しております」

おなかの 大きい、つまの ゆりが うなずいた。

「ややこの うまれるのが まちどおしいのう」

与平が、やさしく ほほえんだ。

はじめの さむい ふゆが すぎ、はるも ちかい

ある日、与平は なだらかな たにまの ちかくを  
あるいていた。

「ほ、きつねの わやこが あそんじよる」

与平は、足を とめて みとれた。

「や、一びきだけ はぐれて、こっちに きよる」

そのとき とつぜん、たにまの まんなかに、大きな  
口が あいたかとおもうと、

ゴー オオオ ドドドド

ゆきの なだれおちる、おもおもしい 音が ひびいた。

きつねたちが、あなたの なかに すいこまれていく。  
あつというまの できごとだつた。

ゆきの 下は、ふかい ほらあな。たにぞこの  
しらかば林の こずえの上に、ゆきが ふりつもり、  
なだらかに たにまを おおつていたのだ。

「うむ、おそろしい たにだな、ここは。  
だが、一びきだけでも たすかつて よかつた……」  
五年の 月日が ながれた。

うみに つきでた おかの上に、かけまわる 女の子と、  
きつねたちが いた。

与平の むすめ、さくらと、なだれのときに たすかつた  
おすの こぎつね——いまは おとなになつた チロ、  
そして チロの かぞくである。

さくらが うまれたのは、与平が チロを

つれてかえつてから まもなくのこと。さくらと チロは、  
きょうだいのように そだてられた。

チロに よりそう ぎんぎつねは、よめさんだ。

ぎんいろの 毛をした こぎつねも まじつている。

はるの おわりの あたたかい 日ざしを

まつていたように、赤い ちようちょも、ひらひら  
とんでいた。

日が かたむくころになると、チロの かぞくは、  
すあなへ かえつていく。

さくらと チロは、おかの上に こしを おろして、  
さくらが、こやの どまで ぐつたりしていた。きりで  
ぬれた からだが、かつと ほてつてている。

さくらと チロは、おかの上に こしを おろして、  
じつと はまべを みおろす。さかなを とりに うみへ

あるばん、ゆりが はたけから もどつてくると、  
さくらが、こやの どまで ぐつたりしていた。きりで  
ぬれた からだが、かつと ほてつてている。





木島 宏さん(21歳)  
島・斎藤商店勤務



昨年の四月から斎藤商店（島）  
で働いています。

ガソリンの販売が主ですが、お客様相手の仕事はなかなか大変で、毎日気づかれています。

仕事のあと気分転換は魚釣りです。"ネクラ"と言われそうですが、最近川で"大物"の鯉を釣り上げ、その感激がまだ余韻とし

て残っています。でも、ほんとは"恋"を釣りたいと、いつも思っているのですが、なかなかチャンスはめぐつて来ません。

仕事をしていく気がついたのですが、給油に来るお客さんは年輩の方が多く、若い人は非常に少ないような気がします。（うちの店だけかな……）。若者が町に残るよう、明るく住み良い環境づくりに期待しています。

五月に二十一歳になりました。やりたいことがたくさんあります。が、あせらず少しずつ目標に向かって努力していきたいと思います。

次回は菊地郁子さん（館西・21歳）にリレーします。

## 「海軍昭和八年会史」送ります

大阪府豊中市上野西三一・一・三  
小野直一郎さん（大琴出身・75歳）

去る四月二日靖国神社に於いて海軍昭和八年会（横須賀所轄）の総会に出席、其の折会員有志の投稿による「海軍昭和八年会史」が完成し受領して参りましたが、郷里にも一部寄贈すべく非売品ですが特別にお願いし入手しましたのでお送り致します。

海軍昭和八年兵は四万人余（横須賀所轄）だけですが、その人員も今は四百名前後、百分の一の人員となり大部分は尊い戦火の犠牲となり戦後姿を消しましたし、会合に出席し得る人員は二百名前後となりました。生き残ったる同年兵有志が記した自分の生い立ち海軍入籍から現在までを記したもので、激動の時代を生きて来た貴重な手記で、この手記に依り当時の若者はどう考えていたであろうか現代と比較して見る時、何かしら心を打つ物があると思います。

この手記を永く後世に伝えたいと思い、出身地である東由利町に寄贈し広く町民の方々に拝読して戴きたいと存じます。

## 東由利の文芸

ゆりかご句会（六月会）

私のおばあちゃんは阿部ヨシエといいます。年齢は七十九歳ですが、とてもビンビンしています。

おばあちゃんは、よく悪口をいいます。昔の言葉でいうと「あぐでこぎ」です。私がよく床に食べ

弟みたいに悪口の言い合いをします。そして、そのあと二人で大笑いします。そんな「あぐでこぎ」のおばあちゃんも、電話に出ると声が変わります。あまりふだんと声がちがうので、私はよくふき出

の前は、昔の悪口の数え歌を教えてくれました。「一聞けば二くいやつ、三ざんなやつだ、四かつてやれ、五げでやれ、六たごどさね、七めんどうだ、八とうばして九そしがてやれ、十んばしてやれ」と、一から十までの悪口で、とてもゆかいな歌です。

私の家には、お父さんがいません。お母さんとおばあちゃんと三人家族です。だから、私にとっておばあちゃんは、お父さんだったり、お母さんだつたり、ときには悪口を言い合う兄弟だつたりする人です。私ではなくてはならない人です。おばあちゃん、これからもずっと長生きしてほしいです。



## 長生きしてね おばあちゃん



大琴小6年・阿部 和江さん

してしまいます。

おばあちゃんは、いつしょにおふろに入ると、昔話を教えてくれます。おばあちゃんの昔話は、なまりがつて、ふつうの昔話よりずっとおもしろいと思います。こ

とあぐでを言います。私も負けないで、おばあちゃんが床に物を落としたりしたら、「かまけし、さる」と言い返してやります。そんな具合に、私はおばあちゃんと兄妹を落とすと、「かまけし、さる」といいます。私も負けないで、おばあちゃんが床に物を落としたりしたら、「かまけし、さる」と言い返してやります。そんな具合に、私はおばあちゃんと兄妹

ふろに入ると、昔話を教えてくれます。おばあちゃんの昔話は、なまりがつて、ふつうの昔話よりずっとおもしろいと思います。こ

とあぐでを言います。私も負けないで、おばあちゃんが床に物を落としたりしたら、「かまけし、さる」と言い返してやります。そんな具合に、私はおばあちゃんと兄妹

- ◆人声と薰風ダムを渡りきし
- ◆新樹光筆たくましく拓碑碑
- ◆牧涼し蛇口に仔牛頬ずりす
- ◆泉わく一山の木靈静もりて
- ◆手鞠花牧場への路片のぼり
- ◆万縁を映すやダムの大鏡
- ◆峡の村日裏日表おおてまり
- ◆水もまた青き六月山の沼
- ◆牧牛の耳朶くすぐりて若葉風
- ◆葉桜の木洩日に透く山湖かな
- ◆新緑や湧く水清く全町に
- ◆涌き水に憩うひととき青嵐
- ◆廃れたる開拓村や鬼廻

- |            |            |           |            |            |            |
|------------|------------|-----------|------------|------------|------------|
| 佐藤 正義（湯出野） | 小笠原亮子（藏新田） | 遠藤トミ子（小倉） | 小野 貞子（藏新田） | 小松メサ子（下小路） | 菊地 常作（湯出野） |
| 高橋民治郎（舟打場） | 小松慶次郎（高戸屋） | 高橋ヒデ子（横渡） | 小笠原トミ（藏新田） | 高橋ヒデ子（横渡）  | 鈴木 要（沼出野）  |
| 阿部 澄子（藏）   | 小松 正昭（家の下） |           |            |            |            |

## ふることを想う ⑤

35

海軍昭和八年兵は四万人余（横須賀所轄）だけですが、その人員も今は四百名前後、百分の一の人員となり大部分は尊い戦火の犠牲となり戦後姿を消しましたし、会合に出席し得る人員は二百名前後となりました。生き残ったる同年兵有志が記した自分の生い立ち海軍入籍から現在までを記したもので、激動の時代を生きて来た貴重な手記で、この手記に依り当時の若者はどう考えていたであろうか現代と比較して見る時、何かしら心を打つ物があると思います。

この手記を永く後世に伝えたいと思い、出身地である東由利町に寄贈し広く町民の方々に拝読して戴きたいと存じます。

# みそ搗き三左衛門

語り・伊東キヨエさん(蔵)  
文と絵・石渡力造

# ふるさとの 昔ばなし

16

## 教師のつぶやき

# せんせい登場



# 教師と子どもの関係再考 —学習成立のための序章—

大琴小学校長・鈴木 純一先生

子どもが教師に対して全面的な信頼と尊敬、そして心から親しみの感情を持つていない限り、教師がどのように働きかけをしたとしても、本来の効果をあげることはできない。

教師と子どもの出会いは、お互いに周囲から期待された態度や行動をともかくもこなしていく、といった役割的関係に始まる。そして授業での交流、教室外での交流を通して、うまくいけば教育的関係ができるいくのである。この場合、教師の持つ人間的な深さや迫力といったことが大きな意味を

持つであろう。いずれにせよ、子どもに何かを着実に身につけさせようとする場合には、この教育的関係が土台となねばならないのである。しかし、教育的関係を成立させるために、教師に対して、心理的依存を強めてはならない。

ということが必要なのである。教師はこの意味で、子どもをできるだけ引きつけ、自らの存在を不要とする方向へ子どもを変えていくというきわめて逆説的な課題をになつてゐるといつてもよい。

授業を「授業設計」と考えたいものである。「設計」であるとすれば、目標が明確化し、それを実現するための手段が組織化されし、実施した効果がチェックされたり、補充的な手段も用いられることになる筈である。初心にかえり、再考を促したいものだ。

**快適タイム**  
“健康診査”がはじまります

四十歳を過ぎた中年の人には、職場では働き盛り、主婦であれば思春期や受験期の子ども、あるいはお年寄りの家族を抱えて忙しい時期です。自分自身の健康管理は後回しという人も少なくありませんしかし、この時期こそ成人病に注意しなければならないときなのです。

成人病は、急に起くるというよ

# 快適タイム

だといつて、お酒をふるまうけど。  
三左衛門は、大きなみそべらを  
背負つて暗い夜道をヨタヨタと千  
鳥足で帰るのだけどよ！  
家に帰るもどり道は、淋しいお  
墓の前を通らなければならず、も  
ともと憶病な三左衛門のこと、下  
から吹き上げる川風で、お墓のう  
しろの木の枝がザワザワツーと音  
がすると、その怖さにブルブルツ  
とふるえておるけどお！  
まるい大きなお月さまが、うし  
ろから照らし、三左衛門の歩いて  
行く前に黒い影がうつって、風の

むかしむかし、福むらに三左衛門といふみそ搗き職人が居てなあ、村むらの家をまわつて仕ごとをしておつたど。

みそ搗きの仕ごとが終ると、どこの家でもみその色つけ祝いごとだといつて、お酒をふるまうけど。

に走り出したでおの。三左衛門が走れば坊主もいつしょに走つてくるし、怖きで冷汗いっぱい、やつとのことで家にたどり着いたど。やれやれと思つたら、坊主が家

嫁がよく見ると、背負つて来て三左衛門は家の中に入れないのだけど。みそべらを背中から取りおろすと、「ほ、ほ坊主うしろから追つて来ねがあ：」とガタガタふるえているけど。

三左衛門の憶病な姿を見て嫁はお腹を抱えて大笑いしているけど大きなみそべらの影が坊主のように見えるのだけどよお：

ひどい  
の 大戸から三左衛門をおさえつけ  
一足も入ることが出来なかつたど  
「ア、アバア：化け物坊主が俺  
どごじやまして家の中き入れねつ  
早く来て助けてけれえ：」と大  
声をあげだ。三左衛門の婢かわい（妻）  
は、「なじよしたどごだあ：」

で、早めに発見することで、発病を予防したり、悪化を防ぐことができます。勤めている人であれば会社の定期健康診断を、それ以外の方であれば町で行う健康診査を必ず受けるようにしましょう。

検査です。何をさておいても、必ず受診してください。

また、七月十九日からは、希望者による胃検診がはじまります。現在千四百七十一人の方が申し込みをされていますが、うつかりして申し込みをしないでしまった方などがおりましたら、役場保健衛生係までご連絡ください。

## 郷土の野草

77

イヌガンソク  
(ウラボシ科)

文・写真 小松忠正

7月 (5/1~5/31)  
町のミニ統計

- 人口 ( ) は前月比
- ・男 2,823人 (6)
- ・女 2,944人 (△1)
- ・計 5,767人 (5)
- 世帯数 1,413戸 (0)

( ) は1月からの累計  
 ●出生4人(16) ●死亡3人(23)  
 ●転入9人(47) ●転出7人(84)

- 火災出動……1件 (2)
- 救急出動……9件 (54)
- 交通事故……0件 (5)
  - ・死者……0人 (0)
  - ・傷者……0人 (7)
- 飲酒運転……0人 (0)
- 酒気帯び……0人 (0)

## 7町民カレンダー

## 青少年を非行から守る

## 全国強調月間7/1~31

- 1~18・レントゲン及び基本検診  
(日程などは別途通知)
  - 3・ことぶき大学 (10時~朋楽荘)
  - 12・稻作講習会 (現地講習)
  - 28~29・陶芸教室 (9時~健康増進センター)
  - 14・町民ゲートボール大会 (9時~高瀬小グラウンド)
  - 19~8/17・胃検診 (申込者に別途通知)
  - 21・町消防訓練大会 (9時~高瀬小グラウンド)
  - 24・稻作講習会 (現地講習)
- 13日と27日の土曜日は役場が休みです。

林の中に生える大型の羊歯草本で、多年草です。葉はクサソテツ(コゴミ)に似ていますが粗大で茎には褐色の鱗片があります。裸葉(緑色で光合成をおこなうふつうの葉)は一・五枚にもなります、冬は枯れて形がなくなりますが、

裸葉の中心から出る胞子葉は写真のように残り、いけ花などに使われます。この草の別名をイツマデグサともいいますが、枯れたままいつまでも残っているので名づけられたのでしょうか。またヘビガンソク、オオクサソテツともいいます。

## 戸籍だより

(5/21  
6/20届出)

## ●お誕生おめでとう

- 5/20 佐野 和也ちゃん (貞雄三男) 新田  
5/25 畑山 菜々ちゃん (吉基二女) 新田  
6/12 横山 千代志さん 向田  
6/15 遠藤 卓哉さん 家ノ下  
6/15 小松志津子さん 向田

## ●ご結婚おめでとう

- 5/24 岩山 ヨシさん (41) 茂妻下通  
6/1 小松 和平さん (40) 長治弟上通  
6/20 長谷山順一さん (32) 真理子夫舟木

▼今月も学校などからいろんな話題を提供していただきました。紙面の都合で掲載しかねたものもあります。その一つは町商工会青年部が郡市野球大会で準優勝し県大会(7月10日・本庄市水林球場)に出場するという話題です。ぜひ応援にお出かけください▼九月発行の予定で「町勢要覧」の編集作業に入ります。

## 編集室から

した。写真撮影等で町民の皆さんにご協力をいただくこともあるかと思いますので、よろしくお願いします▼NHKテレビ「ふるさとネットワーク」に七月十八日(木)出演します。今回は九月十二日本町八塩いこいの森で開かれる「全県野焼きを楽しむつどい」をPRする予定です。町の陶芸サークル「燐幻会」の皆さんが出演します。ご覧ください。

## 広報カラー スナップ



町営朴の木沢放牧場が半年ぶり5月10日にオープンしました。今年はホルスタイン20、ジャージ35頭が入牧、約半年間放牧され10月下旬には我が家へ戻ります。

## 善意

町社会福祉協議会に今野易雄さん(新町)から金一封が、町公民館図書室に東北電力本荘営業所からバザー売上金の一部で購入の図書(約三万六千円相当)が届きました。